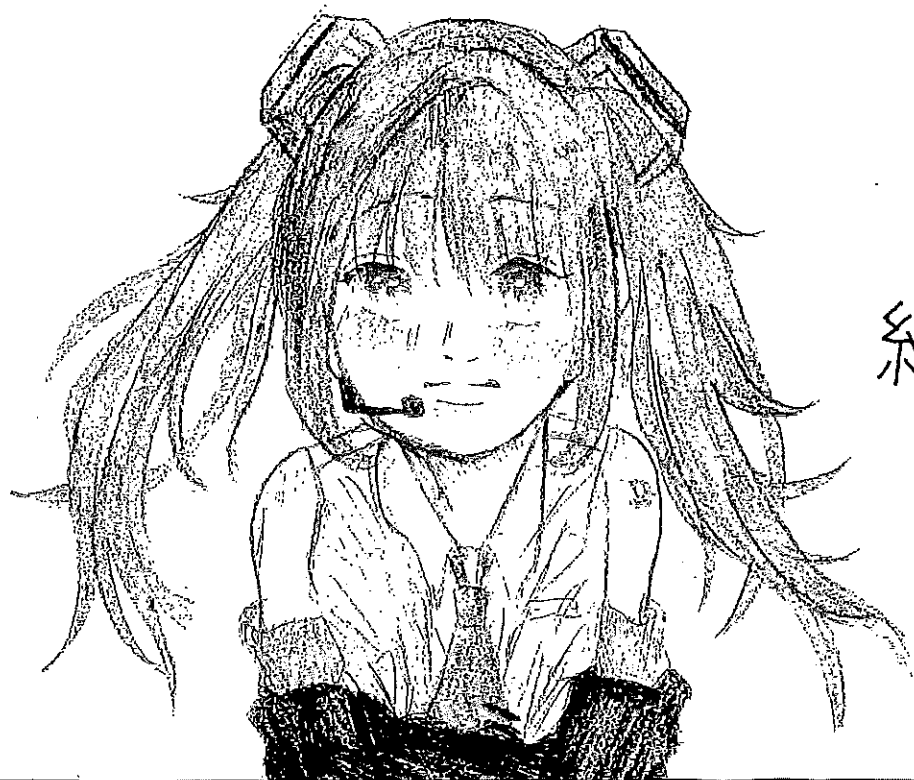


こどものじかん



結芽
(小5)

Vol.70



●特集●

新たな一歩を踏み出した子どもたち・・・1～2

今思う・・・親の気持ち

—就職・成人・進学—

「古希の戯言」・・・3

森 俊博

ココロノアリカ vol.42・・・4

「言葉の扱い」

水戸南高等学校 定時制同窓会会長 宮田 哲郎

そ育て情報ラジオ番組・・・5

イクメン講座より「産後のケア」 大内清志

よしこの世界一周大冒険シリーズ・・・6

65歳の挑戦 杉野 美子

絵本の紹介・・・7

図書館可書ずんちゃん

「はるねこ」「バナナといたら?」「モモ」

コラム・・・8

●「FM ばるるん「ほっと!HOT!スクウェア」の4週目
パーソナリティとなりました」 安野名都美
まちがいさがし by はっかあめ

水戸こどもの劇場より・・・9

毎月の活動紹介 参加者募集

その他のお知らせ・・・10～11

事務所MAP 訪問型病児保育のご案内 広告

発行：認定NPO法人 水戸こどもの劇場

〒310-0912 茨城県水戸市見川2-82-11

TEL/FAX 029-255-0908

E-mail gekijo310@citrus.ocn.ne.jp

URL <http://mito-kodomo.securesite.jp>

LINE ・メルマガも発行しています。



新たな一歩を踏み出した子どもたち -就職・成人・進学-

今思う・・・親の気持ち



2026年の春。長男が就職して家を離れてから2年が経ち、双子の長女と次女も高校を卒業。それぞれが自分の道へと歩き始めました。「子育ても一区切りだね」と声をかけられることもあります。

しかし巣立っていく子どもたちの姿を見ながら親の思いはきっとこれからも続いていくのだろうと感じているところです。

長男は幼少期食物アレルギーがあり、体が弱く入退院を繰り返していました。小さな体で懸命に頑張る姿を見守りながら、私も不安を抱えて過ごしていました。

その後、双子の長女と次女が生まれました。長女は脳性まひがあり、小さな頃から足のリハビリに取り組んできました。歩いても転びやすくお友達と同じように動けないもどかしさと向き合いながら、それでも少しずつできることを増やしていく姿は、私にとって大きな励ましでした。

次女には先天性疾患や発達障害があり、言葉の遅れや食べることの難しさなど、さまざまな課題がありました。療育やリハビリに通いながら少しずつ成長していく姿に勇気づけられる一方で、「この子はこれからどう育っていくのだろう」と胸がぎゅっとなる日もありました。

成長するにつれ、環境の変化にうまく馴染めず、小中学校では行き渋りや不登校の時期もありました。制服に袖を通そうとしても体が固まり、涙がこぼれ、嘔吐反射が出てしまうこともありました。「行きたくない」ではなく「行けない」という苦しさが伝わってきて、玄関先で立ち尽くす次女の背中をさすりながら、どう寄り添えばいいのか悩み続けた日々は、今でも忘れられません。

そんな次女が、中学卒業を前に「高校に通いたい」と自分の言葉で伝えてくれました。入学後も決して順調なことばかりではありませんでしたが、それでも通い続ける姿を見て、「この子はこんなにも前に進めるんだ」と胸が温かくなりました。

長男と長女の除去食づくり、長女のリハビリ、次女の療育。振り返ると、子どもたちのそばにはいつも誰かの温かい支えがありました。病院や幼稚園、学校の先生方、児童発達支援や放課後等デイサービスのスタッフの皆さん、水戸こどもの劇場の皆さん。本当に多くの方々のおかげで、ここまで歩んでこられたのだと感じています。

今では、劇場でボランティアをしている姿や、合唱サークルで仲間をまとめている姿を見るたびに、「ああ、こんなに成長したんだな」と胸が温かくなります。困ったときに戻れる場所、悩みを抱えたままでも受け入れてくれる場所、親も子も一緒に育っていける場所。そんな水戸こどもの劇場の存在に、心から感謝しています。

これからも子どもたちの歩みを信じ、そっと背中を押しながら見守っていきたいと思っています。

西連寺明子

2025年の12月、娘が20歳になりました。



正直、今思い出してもトントン拍子とはいかなかった子育て（笑）もようやくほっとひと段落です。

この20年は大変でもあったけれど、娘から多くのことを学びました。きっと「娘」じゃなければこんなに笑いある楽しい子育てにはならなかっただろうな、なんて思っています。素敵なギフトをありがとう娘よ！そんな娘、今では悩みや相談、果ては私の体調不良（プレKNK ※）時のご飯からお世話までも娘がやってくれる時があります。嗚呼！なんて立派に育ってくれたんだろう。本当、育てた人の顔が見てみたい！？ そうそう、『親がしっかりとした姿を見せる』ことが正しい子育てだと、ずっとずっと思っていました。でもそれは間違いで、『親が人間らしい姿（泥臭く頑張る所も情けない所も全力で喜ぶ所も）を見せる』ことが本当の子育てだって、実際にやってみて気づいたんです。なぜって？私が『娘のためにしっかりとしなきゃ！』という

思いをやめた時に、大きく成長したからです。

今では、「人の幸せを心から喜び、やりたいことには全力でチャレンジする、優しくでも強さもある素敵な女性」に育ってくれました。今年の成人式の着物姿は本当に眩しかったなあ。共にここまで二人三脚で駆け抜けた主人と、娘が2歳の時からその成長をここまで見守ってくれた、両親達、それから水戸こどもの劇場には本当に感謝しています。

特に、今でも私を成長させてくれる、劇場の活動団体である「みとびよ音楽隊」は私と娘の人生には欠かせないものとなりました。子育てでうまくいかなくて辛かった時、みとびよの仲間や保育スタッフさんの存在が私と娘をどれだけあたたかく支えてくれたことか。ありがとう！そしてこれからもよろしくお願ひします。

これから先、娘は大学を卒業し、いつか結婚…？するかどうかはわかりませんが、『彼女らしい道をたのしく歩んでいってほしいと』願ひ、この文を終わりにしようと思います。大好きだよ！娘！

H.K

※注釈 KNK 更年期

息子が二十歳になって思うこと

2026年1月。息子が二十歳の集いに参加しました。そして私も祝☆お母さん20周年！子供が成人したただなんて感慨深いものがあるわーなんて言いつつも、現実では学費やら、仕送りやらでまだまだサポートは続いているのですけれど。。。

この節目にこれまでの20年を振り返ってみると、様々な思い出が蘇ります。絵本の事、独特のスキンスリップ、旅行、習い事、部活、ペットなど、今でも息子と話題になる共通の思い出は沢山あって、楽しかったこと、辛かったこと一つ一つがかけがいのない宝物です。子育てと言いながら、自分育てでもあった20年でもありました。

そんな中でも、まだ幼い1歳、2歳前半くらい頃がやはり印象に残っています。買ったばかりのソファの背いっばいに、マジックで大きな幾何学模様を描いたり、新築の無垢の床にボールペンで描かれた宇宙文字は今でも残っています。その後、何も起きなかったかと思わせておいて、目立たないテーブルの裏にぎっしり彼の作品が描かれていたのを数年後に発見したり！大きなお絵かき帳を何十冊も与えているのにこうなる摩訶不思議。もちろんその場で私はニコニコしているわけもなく、赤い目をした王蟲の如く怒り叱っていたわけですが（笑：ナウシカ世代です）。子育て中にはみんな経験するこんな些細な日常。今となっては笑える思い出です。

今、自分の子育てを振り返って勿体無なかったなって思う事があります。自分の当時の心のあり方です。沢山の幸せを子供からは頂いていましたけれど、時には予測不能な子供の動きに驚き、怒ったり、イライラしたり、叱った後に、自分が嫌になったり。未熟な私は、自分を卑下していました。自分はこうしなくてはダメ、こうするべき、とか、世間体など自分の今までの経験から構築された制約（エゴ）、これらは本来自分を危険から守るための大切な鎧かもしれないけれど、それが逆に自分を苦しめていたのではと感じます。幼い子供に間違ったことを注意したり、叱ることは必要ですが、その時の親の心の健康が何よりも大切だなんて強く思います。子供の感性は鋭いから、お母さんやお父さんの心が笑っているだけで、場は（きっと）整う！笑 と、今は思います。

子供一番、自分最後、になりがちですが、自分を大切にすることが、子育てのコツなのかな、と思います。これは子育てだけではなく、より良い人生を歩んでいくためにも大切なことですね。

これからも、学業や就職活動、社会へと向かっていく息子への心配は尽きないと思うけれど、彼の人生は彼のもの。不器用な彼にはやはりこれからも多少のツッコミは入れるとは思いますが（私も逆に助けられることも多くなりましたが）、心はいつも健康に。おおらかで柔軟な自分でありたいなと思います。

そして、この場をお借りして・・・子育て2年目からお世話になっております水戸こどもの劇場様と、ここで巡り会えた大切な大好きな友人、仲間達に感謝の意を表します。

本当にありがとう ♡ そしてこれからも末永くよろしくお願ひします ♡



M.H

昨年、古稀(希)を迎えた。70歳は古代稀(まれ)な長寿のはずだったが、今ではどこにでもいる平均寿命未満の前期高齢者である。おかげで、医療費は3割から2割負担になって、病院回りしている小生にとってはありがたい。带状疱疹ワクチンやインフルエンザワクチンにも補助が出る。ほとんど使ったことがないが、映画館やどこそこの入場にもシルバー割引がある。しかし、ありがたいことばかりでもない。現今の世界情勢やら日本の政治のあり方など見ていると憂慮することも多く、安穩ともしてられない。

小生が学生時代、父親が友人たちと政治談義をしていたのを見ながら、なぜ大人たちは政治の話ばかりするのかと不思議だったが、どうやら年を重ねると政治に関心が向かうものらしい。全く政治には無関心だったこの自分が、この頃政治を語りたくなるのが不思議である。なぜなのか。一つには世の中の仕組みが少し分かってきたからというのがある。若いときは世の中がどのようにして動いているのかなど知らなかったし知りたくもなかったのに、多少知識が増えると人ごとではいられなくなったのだ。もう一つの理由は、仕事もしないで暇だからというのがある。

囲碁由来の言葉に岡(傍)目八目というのがある。対局している二人は必死で目先のことしか見えていないが、傍らで見ている人間は余裕があるから八目先まで見えているという意味だ。現場の政治家より外野にいる年寄りの方が将来の世界情勢まで俯瞰できるのかもしれない。歴史を振り返ったり地政学的な見地から世界を見たりする余裕があるからだろう。

執筆時現在、衆議院議員の選挙期間中で、選挙後の政局の勢力図はまだ分からないが、多分保守的な政党が議席数を伸ばしているに違いない。自国ファーストとか、排外主義とか、ヘイトスピーチとか、少し前まではそのようなケチなことは恥ずかしくて言えなかったのが、今では正義の味方のように声高に叫ばれている。なぜもっと全世界の人々が仲良くできないのかと悲しくなる。今、世界中に瓦礫の中で泣いている子どもたちや栄養失調で骨と皮ばかりになっている赤ん坊がたくさんいるのに、大国の政治家たちはそのような映像を見ていないのだろうか。思想家や哲学者などという人たちが、どうすれば世界中が平和で安心して暮らせる社会になれるのか様々に提案してきたが、彼らの声は小さく難解なため、政治家には届いていないのが残念である。

このような人間の愚かさを見て、神は人間に鉄槌を食らわしてきたことが旧約聖書の記述にある。人間の祖であるアダムとイブとが神によって禁じられていた知恵の実を食べてしまっただけで、神は人間にうぬぼれるなど忠告してきたのだ。エデンの園追放、

ノアの箱舟事件、バベルの塔事件など、人間は神の存在を忘れては神から天誅を受けた。仏教でも、仏陀が死んでから人は仏陀の教えを忘れてしまう時代が来ると言われていたが、今が世の中が乱れる末法の世界なのかもしれない。

アダムやイブが食べた知恵の実には、人をアグレッシブにするような栄養素が含まれていたのかもしれない。そのエネルギーのおかげで人類は文明を発展させたが、その飽くなき欲望は地球環境を破壊し、気候変動を起こさせ、国同士の覇権争いで核戦争にまで発展しようとしている。日本の国家予算ほどの資産を持つ実業家がいる一方で、住む家も食べるものもない人たちが世界にはたくさんいる。それは、単に怠けて働かなかったからではないだろう。逆に、PCの前に座って、株価や為替の動向ばかり見つめていることが働いていると言えるのだろうか。資本主義や競争原理が本当に正しいのか。格差が生じれば不満が募り、人間同士が不信を抱くようになる。アグレッシブな競争は、スポーツなどだけで発散してもらいたいものだ。エデンの園を追われた頃のアダムとイブが、土を耕し額に汗して働いていた頃を思い出して欲しい。

教員を辞める頃、学校にデジタル教育が浸透し始めた。生徒は鉛筆を持たず、ノートに文字も書かず、指一本でタブレットをタップして学習するようになった。鉛筆の持ち方も知らない、文字も書けない、筆順など知るはずがない。このような学習が人間の脳をどのようにしてしまうのか心配するのは小生だけだろうか。教室にはタブレットではなく、万年筆が必要ではないかと常々思っていたが、テレビのクイズ番組で答えを書くタレントが、字が書けなかったり、ひどい書き順をしたりするのを見かける度に、これでいいのかと疑問を禁じ得ない。

老人の特徴は、愚痴が多くなり昔は良かったと嘆くことでもある。それはいつの時代もそうであった。テレビばかり見ていると馬鹿になるぞ、漫画ばかり見ていないで勉強しろと言われた小生の時代は、それでもまだアナログ的であった。辞書を引く、ページをめくるといった作業が多かったし、大量の教科書を鞆に詰めて持ち歩かなければならなかったから、その重さで自然に体力もついていった。自家用車もなかったから、よく歩いた。ナビもなかったから地図を見たり方向感覚を駆使したりして苦労した。そのような苦労が大事なのではないかと高齢者は思う。

かつて、エバンゲリオンというアニメが流行った。使徒という恐ろしい怪物が東京を襲うのだが、使徒とは神の使いのはずなのに、なぜそのようなことをするのか。人間が創ったエバンゲリオンがそれに対抗するのだが、時々正義の味方のように機能しないこともある。まるで、神が正しいのか人間が正しいのか、どちらに加担すべきか測りかねて逡巡しているようだった。改めて、我々もエバンゲリオンになって、正義とは何か考え直すときではないか。

『物は言いよう』という表現があるように、言葉とは言い方ひとつで様々な顔色を見せるものです。紙一重のような微妙な言い方の違いで、相手に好意的な印象を与えることもあれば、不快な印象を与えることもある。それはさながら魔法や手品のような繊細かつ劇的なもので、私たちはそれを操りながらコミュニケーションを取り合っています。

例えばこういうシチュエーションではどうでしょうか？

「宿題が終わるまで遊んじゃダメ」

と言う場合と、

「宿題が終わったら遊んでいいよ」

と言った場合。どちらがより肯定的かつ柔らかい物言いになっているのでしょうか。もちろん相手にそれを伝えたいと思った時にどういう言い方をした方が伝わるか、という部分は考慮しなければなりません。おおむね後者の方が肯定的で柔らかい雰囲気を持った物言いになるのではないかと思います。言いたいことは同じでも、言い方のニュアンスひとつで伝わり方は変わります。私自身はどちらかという反発心の塊みたいな幼少期だったので、前者のような言い方をされるものすごく不快だったのを覚えています(笑)

とはいえ、日常生活の慌ただしさの中ではそんなことを考える余裕もない。というのが人間の常です。忙しくて感情的になっている時ほど、ついつい否定的な物の言い方になってしまったり、余計に相手が言うことを聞いてくれなかつたり反発を受けたり、ということはあることだと思います。それ自体はしょうがありません。人間は感情を持つ生き物なのですから。

ただ、最終的に自分が言いたいことを相手に伝えようと思う時、果たしてどれぐらい相手のことを考えられているのでしょうか。

この人にはあえて強めに否定的な物言いをした方が刺さるのか。それとも肯定的で柔和な言い方をした方が入っていくのか。そんな風に考えるひと呼吸を挟むだけでも、コミュニケーションの結果は大きく変わります。特に発達障害的な特性を持つ相手とのやり取りだったりすると、よりその効果は大きく違ってきます。私自身はADHDとASDをどちらも抱えている状況なのですが、脳の報酬系と呼ばれる回路に響くような伝え方をされると俄然その通りに動いてしまいます。

めちやくちや簡単な例えをすれば「これやってくれればこれあげる」とか「これやってくれたらこれやっていいよ」的な感じのヤツです。まあ、ちよろいもので、手の平の上で簡単に転がされてしまいます(笑)

それはさておき、自分が伝えたいことがなかなか相手に伝わらない、というか入っていかない状況と言うのは、自分にとっても相手にとっても不毛な時間です。ただでさえ日常生活回していただだけでも精一杯なのに、そんな状況が不意にやってきてしまうと、それだけでグッタリしてしまいませんか？ それを避けるためにも、言い方のひと工夫は様々な場面で必要になってきますし、家庭においても社会においても役立つスキルとして蓄積されていくと思います。

とはいえ、かく言う自分もそれができているかと問われると、なんとも自信はありません。どれくらい日常生活の中でできているだろうか、と自問自答する日々です。それでも、頭の片隅には常に置いておくように気を付けてはいます。だって幼少期の自分は今でも心のどこかに宿っていて、今でも否定的な言い方をされると「絶対に言われた通りにしないぞお」ってなってしまうので(笑) 自分がされて嫌なことはなるべく人にはしたくないから、できる範囲で気を付けようっていう感じで頭の片隅に置いておくように自戒しています。

さて、なんだかまとまりませんが、結局のところ人間は社会の中で生きていくためには何らかのコミュニケーションをどこかしらでは取る必要があります。日常の中にある無数のコミュニケーションのすべてを配慮することはなかなか難しい、というか無理があります。それでもふとした瞬間にどれぐらい相手のことを考えられるか。自分の言いたいことをどれぐらい相手に伝えられるかは、クオリティオブライフを高めていくには必要不可欠なスキルです。そこには正解も満足も無いかもしれませんが、何よりも自分のために意識して見て損はないと思います。この人には何を言っても通じないから何も言わないにしよう。そんな諦めの境地にたどり着いてしまう前に、どんな言い方がこの人には合っているのだろうか。そう考えるひと手間が、ちょっとめんどくさいけど最終的には魔法のように自分を救ってくれるのかもしれない。

猫とのコミュニケーションは分かりやすいです。彼らは快・不快をダイレクトに表現してくれます。心地よければ目を閉じてゴロゴロ言うし、不快なら嘔まれて引っかかれて痛い。結果はすぐに自分に返ってきます(笑)

海外のニュースなどで、出産後まもなくお母さんが赤ちゃんを抱いて病院を出る姿を見ることがありますよね。

あれを見て、「もう動けるんだ」「すごいな」と思う人もいれば、「え、大丈夫なの？」と心配になる人もいます。

国によって、出産後にどれくらい入院するかは本当にさまざまです。

日本では数日から1週間くらいが多いですが、海外では2~3日、場合によっては日帰りという国もあります。

これは医療の進歩や制度の違いによるもので、体がすっかり回復したから早く帰れる、という話ではありません。あと、お金の問題も…

今では、「産後6~8週間くらいは体を回復させる大事な時期」という考え方が、少しずつですが広まってきました。

見た目は元気そうでも、体の中ではかなり大きな変化が起きています。出産って、終わった瞬間に元に戻るようなものじゃないんですよ。

日本でも、産後の無理が重なって体調を崩したり、気持ちが落ち込んでしまう方が少なくありません。『産後うつ』という言葉も、だいぶ知られるようになってきました。

それでも現実には、「動けるから」「自分がやったほうが早いから」と、産後すぐに家事や育児を頑張ってしまうお母さんが多いと感じます。

ここから、男性側の話をさせてください。

出産は女性がするものですが、生まれてくる子どもは、夫婦二人の子どもです。

正直、出産の痛みやしんどさを、男性が本当の意味で理解することはできません。でも、想像することと、支えることはできと思っています。

結婚するときに「一生守るよ」なんて言ったりしますよね。

もしその言葉に本気なら、一番守らなきゃいけないのが、産後の時期なんじゃないかなと、私は思っています。

体も気持ちも一番弱っているときです。そのときに「大丈夫？」って聞くだけじゃなくて、「俺がやるから、寝てていいよ」って言えるかどうか。それって、すごく大事なことだと思うんです。

私自身、4人目の出産のときは、親にも頼らず、夫婦でやってみようと思ったんですが……正直、かなりきつかったです。

家のこと、上の子の世話、役所の手続き、来客対応、赤ちゃんの健診。洗濯は1日に何回も。沐浴させるだけでも、準備から片付けまで含めると、あっという間に時間が過ぎます。

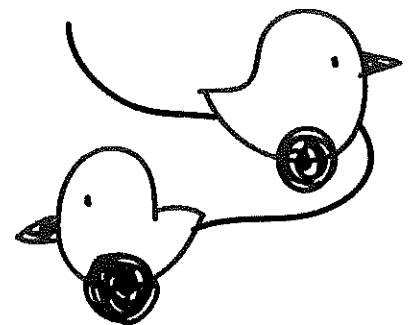
「産後は体を休める人」が、これを全部やるのは無理だな、と身をもって感じました、無理というか、危ないなって。

私も、ふらふらになって、奥さんから心配されてしまいました。男性も『産後うつ』になるって、ちょっと分かる気がしました。だから、これからパパになる人に伝えたいです。

完璧じゃなくていいです。家事が雑でもいいし、段取りが悪くてもいい。

大事なのは、産後の奥さんを一人で頑張らせないこと「休んでいいよ」を、言葉と行動で伝えること。「俺がやるから、寝てていいよ」その一言で、ずいぶん救われると思います。

結婚したときの約束を、一番大事なタイミングでちゃんと果たす。それが、産後なんじゃないかな、と思っています。



65歳の挑戦！

— 子育てのその先に、もう一つの人生が待っています —

賛助会員 杉野美子

私は65歳。

60歳で起業して5年、今は7回目の世界一周旅行の途中です。この旅が、最後の世界一周になるかもしれません。世界一周航空券の制度が変わりマイルで行く特典航空券も終了しました。時代は変わります。でも、夢はなくなりません。



子育てのその先にある未来 子育て中は、毎日が精一杯。自分の夢は、つい後回しになります。

でも、子育ては終わります。そして、その経験は人生の宝物になります。

私は、60歳でオンラインスクール「大人の世界一周アカデミー」を始めました。この5年で、多くの50代・60代の女性が旅立ちました。最近は、有償の世界一周航空券、しかもファーストクラスで出発する生徒さんが増え、2025年のアカデミー生8人中7人が世界一周航空券ファーストクラスの発券を終えています。「いつか行きたい」が、「今、行きます」に変わった瞬間です。



AI時代だからこそ、体験の価値が上がる。これからはAIの時代、知識は誰でも手に入ります。だからこそ五感で感じる体験の価値は、ますます大きくなります。

人生100年時代と言われますが、健康寿命、旅行寿命は限られています。だから、行きたい場所には、会いたい人には、今、会いに行く。その行動を支える学校へ、アカデミーも変わっていきます。



65歳、新しい挑戦へ 私の65歳の挑戦は、
・5年間続けてきた「大人の世界一周アカデミー」の大幅リニューアル
・卒業生クラブの再設計
・世界一周から、海外プチ移住へ、人生の大きな節目を迎えています。
でも、ワクワクしています。

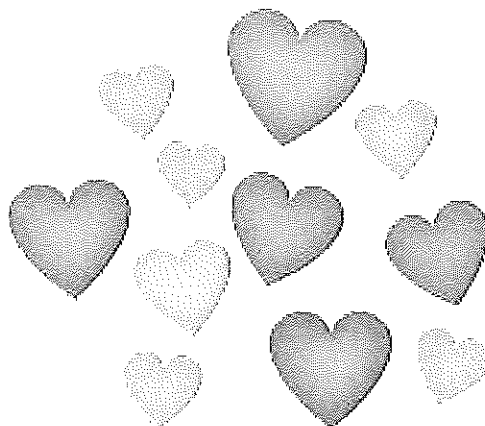


あなたの夢は何ですか？子育ての毎日を、どうか大切にしてください。その経験は未来の力になります。そして、心の中に小さな夢を残してください。65歳の私が、まだ挑戦しています。だから、あなたにもできます。

あなたの夢は何ですか？ そのために、今日何をしますか？ 焦らなくていい、小さな灯をともし続けましょう。

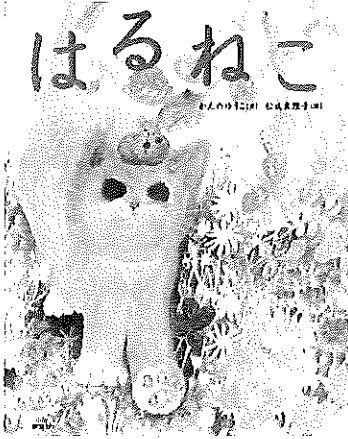
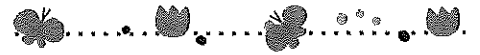


世界のよしこ 60歳で起業
6回の世界一周を経験 オンラインスクール
「大人の世界一周アカデミー」主宰



●絵本の紹介●

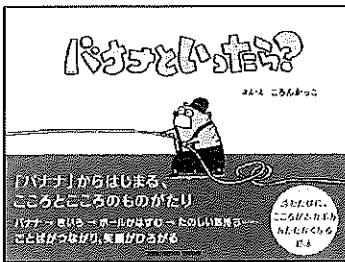
「図書館司書」ずんちゃん



「はるねこ」

かんのゆうこ／作
松成真理子／絵
出版：講談社

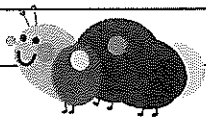
「きよねんはおせわになりました。おかげでぶじにはるをはこぶことができました。これはおれいのきもちです。」ある春の日にあやちゃんに届いた一通の手紙と若草色の巾着袋。あやちゃんは【春を運ぶはるねこさん】のために春を作ったことを思い出します。とっておきの方法で作りました【春】私達にも作れそうですよ。ぜひ一緒に♪



「バナナと いったら？」

ころんかっこ／作・絵
出版：文芸社

「バナナっていったらきいろ」→「きいろっていったらおつきさま」→「おつきさまっていったらつきみだんご」誰もが一度はこんな遊びしたことありますよね😊
でも…え…？ところどころが繋がる!!
今をつくっているのは過去、今つくっているのは未来、すべてが繋がっていく。そうしたら今がとても大切に思えてきませんか。



「モモ」

ミヒヤエル・エンデ／作
シモーナ・チェッカレッリ／絵
松永美穂／訳
出版：光文社

小さな壊れかけの野外劇場に住んでいるモモ。町のみんなが言います「モモのところに行ってごらんよ！」モモは大人、子ども、動物、雨、風、星、あらゆるものの話を聞いていました。みんな話を聞いてもらおうとアイデアが浮かんだり、考えがまとまったり…。どんな人でも自分の中のモモによ〜く話を聞いてもらおうと【いのち・時間】の使い方が変わるのかもしれない。

●子育てコラム●

76.2MHz



FM ぱるるん「ほっと！HOT！スクウェア」の4週目パーソナリティとなりました。

安野名都美

水戸こどもの劇場が制作している、FM ぱるるん内のファミリー情報番組「ほっと！HOT！スクウェア」の4週目パーソナリティとなりました！

ラジオが大好きな私としては、自分が制作側になれるなんて！もう、嬉しくて夢のよう。もちろん今は、なりたてホヤホヤで、収録のたびに四苦八苦。それでも、大好きなラジオに関われる喜びの方が勝っています。もっとたくさんの人に、ほっと！HOT！スクウェアを聴いてもらうには、どうしたらいいかなー。日々妄想しております♪

私がラジオの魅力にハマったのは、受験勉強に励んでいた高校生の頃。当時好きだったV6のラジオ番組をカセットに録って、繰り返し聞いてました。振り返ってみれば、母も、おじいもラジオ好き。母は運転中に、おじいは畑仕事の最中に。沖縄民謡の流れるAMラジオを、それぞれ好んで聴いていましたね。沖縄って日本でも一、二を争う「ラジオ激戦区」！なんですよ。AM3局・FM2局、コミュニティFMは数えきれないほどございます（2026年2月現在）しかもお昼の時間帯は、どの局も生放送番組を持っています。リアルタイムでメッセージを読んでもらえる事もあり、メール・ハガキ・FAXで！毎日メッセージを送ってくる「ハガキ職人」的リスナーさんも多い。他のメディアと比べて「ラジオは作り手と聞き手の距離が近いのが特徴である」と言いますが、沖縄の地域性に、ラジオは相性の良いメディアなのかもしれませんね。

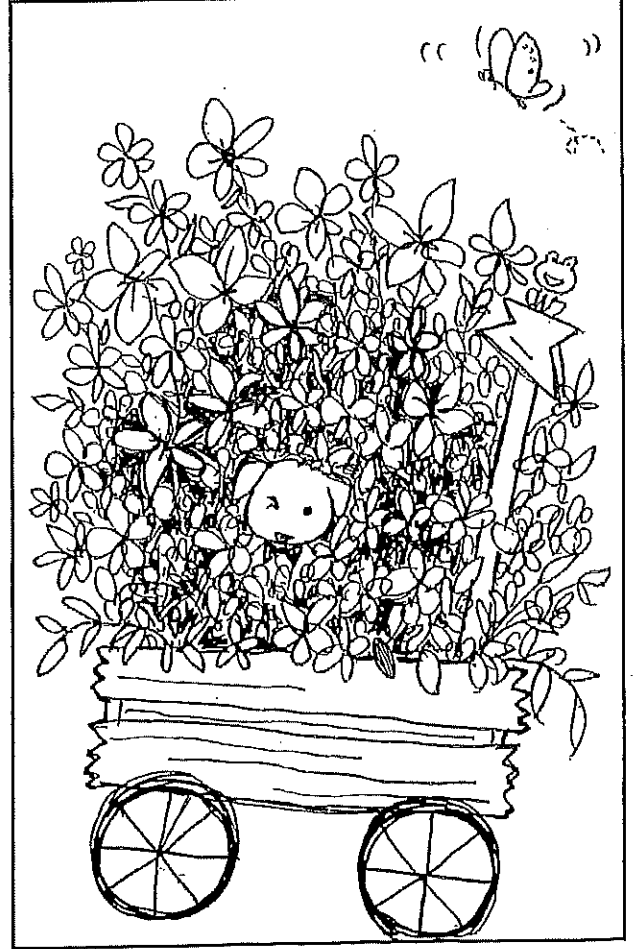
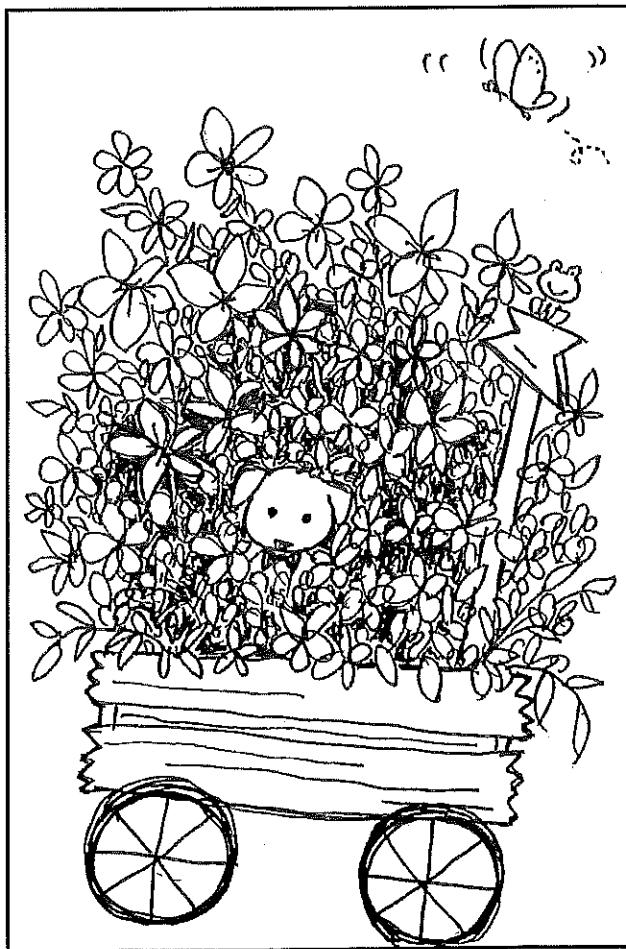
さて、茨城はどうですか？ 1999年にスタートした「ほっと！HOT！スクウェア」も20年を超える長寿番組。これからも親しみを持って聴いていただける番組づくり、新人ながら頑張ってます。

毎週土曜15時から16時、ぜひラジオにお耳を傾けてくださいね♪

まちがいさがし

by はっかあめ

10ヶ所あるよ！こたえは一番うしろのページをみてね



毎月の活動 (その他 文化創造体験活動、自主活動なども開催しています)

*変更や中止になる場合もありますのでお問い合わせ下さい。詳しくはホームページをご覧ください。

<p>おもちゃ貸し出し エルマークラフ 対象：幼児の親子 【予約制】 毎週水曜日、第1・3金曜日 利用無料 水戸こどもの劇場事務所 (各回1~2組限定) ①11:00~11:45 ②12:00~12:45 ③13:00~13:45 *おもちゃや本の貸し出しあり 貸出料 会員無料(要登録3千円、会員外1回500円) ○お申し込み ホームページから</p> 	<p>多世代交流 たまり場「はやま庵」 毎週月曜日 10:00~12:30 利用無料 水戸市老人福祉センター葉山荘内 和室 ○お問い合わせ 葉山荘 029-243-5508</p>
<p>個性ある子育てサロンcomodo (コモド) 対象：大人 月2回程度 10時~12時 発達が気になる、HSC等、子育ての悩みを話す会 水戸市福祉ボランティア会館 (ミオス2F)</p>	<p>多胎児サークルかるがも 双子ちゃん三つ子ちゃんを持つ親子のサロン 月1回金曜日 10時~12時 参加無料 水戸市福祉ボランティア会館 (ミオス2F)</p>
<p>みとびよ音楽隊♪ ファミリープラスバンド 練習は月5回程度9時半~12時(対象：大人 子連れOK) 楽器の演奏を楽しんでいます。&依頼演奏あり 参加費：要活動会員登録(年3千円) 入会金1000円・毎回200円 *練習場所等についてはお問い合わせください。</p>	<p>ガフの会 毎月読み聞かせ会をしています。 東部図書館 2F 第1・5土曜日 14時~14時半 見和図書館 第3土曜日 14時~14時半 参加費：無料</p>
<p>ガレッジセール 【予約制】 月2回程度 主に火曜日&時々土日 11時~14時 水戸こどもの劇場事務所隣 トレーラーハウス 不要になった子ども服や雑貨日用品など格安でお譲りしています。</p>	<p>ウクレレ&ギターサークル♪「ピコ」 対象：大人 毎月1回 10時半~13時半 (子連れOK) 場所は事務所または見川市民センター ゆる~くウクレレやギターを楽しむ会です! 参加費：会員無料、会員外1回300円 *気軽に問い合わせください。</p>
<p>こどもの居場所 ポルタ 【申込制】 第3の居場所~自分らしく安心して過ごせる~ 日時：月・火・木曜 (祝日・年末年始・お盆休み除く) 9:00~17:00 入退室自由 場所：水戸こどもの劇場 別館 (水戸市見川2-81-7 C棟) 対象：小学生~中学生のお子さん、親子、大人 参加費：1回1000円 + 年間諸経費・保険料5000円/年 (体験2回無料) ○お問い合わせ・お申込み 水戸こどもの劇場 HP、又は事務局まで 電話 029-255-0908</p>	<p>moso カフェ 対象：大人 不定期 10時半~14時 ウクレレなんかも♪ 事務所となりトレーラーハウスにて ゆったりゆったり自由に過ごすゆる~い会です。 手作りのお昼ご飯やバザー品もあります。</p>
<p>水戸市子育てひろば ぽかぽかつどいの広場 (水戸市受託事業) 毎週火・水・木・金・土 10:30~15:30 (日・月・祝日閉館) 場所：水戸市福祉ボランティア会館(ミオス2F) 未就学児の親子を対象に、交流の場を提供しています。 参加費：無料 毎月講座開催中 (講座のみ予約制) ○お問い合わせ ぽかぽかつどいの広場 電話 090-8348-5375 まで</p>	<p>0歳児の日 1歳児の日 育児相談の日 あります</p> 
<p>室内ゲームの会「On the table」 対象：小1~大人 毎月1回、土曜か日曜祝日 (不定期) 10時~15時 水戸こどもの劇場事務所で、電気のいらぬゲーム、 カードゲームやボードゲームで楽しく遊びます。 参加費：無料 出入り自由</p>	<p>遠足くらぶ 対象：子ども~大人 【申込制】 複数家族で季節ごとに山歩き、釣り、サイクリング、 果物狩りなど、いろんなことを体験しています。 参加費：会員無料、会員外1回500円 (その他実費)</p>
<p>ほっと!HOT!スクウェア ファミリー情報番組 毎週土曜日 15時~16時 毎週火曜日 (再) スタッフはみんなお父さんお母さん、生活の中で気づいた疑問、得た情報を放送中です! ラジオFMぱるるん 76.2MHz 放送中!</p>	<p>問い合わせ先が書いていない活動は、水戸こどもの劇場まで お問い合わせください。 お問い合わせ 水戸こどもの劇場 事務局 029-255-0908(平日10~14時)</p>
 <p>ホームページ</p>	

●訪問型病児保育“ぷちぷり”のご案内●

対象：水戸市居住の生後6ヶ月～小学生までのお子さん
 実施場所：水戸市内の利用する児童の自宅
 利用時間：原則として8時～20時まで



水戸市受託事業として水戸こどもの劇場が実施しています。

病気のお子さんを、研修を受けたスタッフが登録のあったご家庭に伺って見守ります。

事前登録、医師連絡票が必要です。

その他詳細は、水戸こどもの劇場ホームページをご覧ください。



*登録会を開催しています。(要予約)
 (お問合せ) TEL029-255-0908

会員募集中!

入会は、子どもから大人まで。

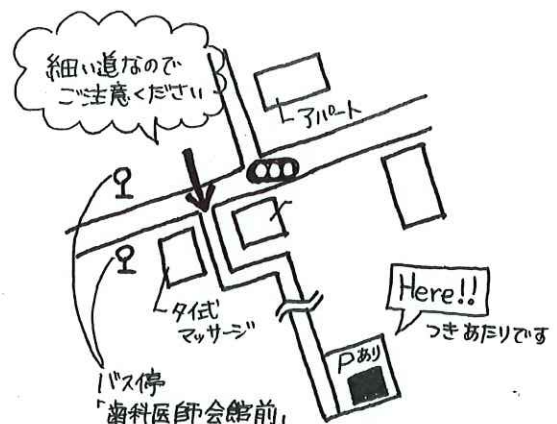
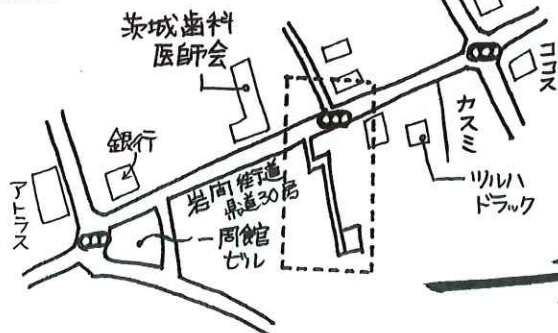
正会員	入会金	500円
	月会費	1,000円
活動会員	年会費	3,000円
ボランティア登録会員	(大人のみ) 学生会費	無料
	年会費	1,000円
賛助会員	一口	5,000円～

*賛助会費は寄附扱いになります。

<賛助会員の皆さん>

水戸吉沢小児科クリニック様、河和田幼稚園様、サンライフ・サンフーズ様、モダンデンタル中庭歯科医院様、乳がん仲間の小さなおしゃべり会 momo 様、水戸産業医事務所様、雨宮則子様、岩田みなみ様、内桶純子様、加藤智明様、河原井忠男様、杉野美子様、柳橋剛様、田中光彦様、中根一昭様、野口祥子様、植木剛様、森田直幹様、森田大輔様、新妻俊英様、西連寺悠斗様、仲根泰子様、久下沼洋子様、桜井大介様、桜井博司様

(順不同・2月末現在)



- カスミ側から1つ目の信号を左折です。
- 駐車場あります(台数に限りあります)

<住所：水戸市見川 2-82-11>

◆寄附のお願い◆

私たちの活動は、会員の会費や助成金、行政からの委託などの事業収入、ボランティアスタッフの奉仕によって実施されています。

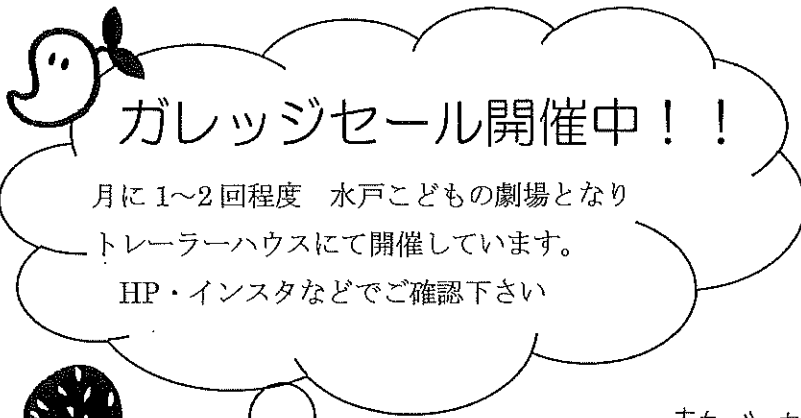
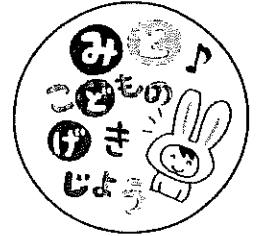
全ての子どもたちが尊重され、この地に生まれてよかったと思える環境を私たち大人が創ることが豊かな未来を育てると信じています。未来を育てる活動をご支援ください！

認定NPO法人として多様な活動を支えるために1人3,000円～、年間100名以上の寄附者を募集しています！ご協力をお願いいたします。

認定NPO法人への寄附は、確定申告をすると税金の還付が受けられます。ぜひ応援よろしくをお願いいたします。

<お振込先>

- ・郵便振替 00300-8-1833 水戸こどもの劇場
- ・常陽銀行 見和支店 普通 1261264

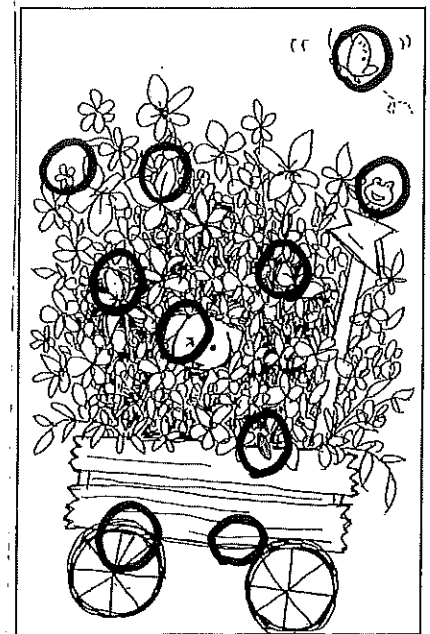


ガレージセール開催中！！

月に1～2回程度 水戸こどもの劇場となり
トレーラーハウスにて開催しています。
HP・インスタなどでご確認下さい



まちがいきがし
こたえ →



<広告> “ 広告は随時募集しています ”

まるごとカフェ

平日11:00～16:00 (土日祝休み)

- お弁当イートイン (カフェで食べられます)
- ユアアイ子育て支援センターのすぐとなり
- ユアアイほいくえんのすぐとなり
- 平日14時からはフードロスタイムでお弁当100円!
(売り切れ次第終了します)



社会福祉法人ユアアイ村 | ユアアイキッチン
水戸市吉沼町1429-12 電話029-212-3775

中古車購入 衝撃のシステム

- 毎週10万台以上のオークション出品車両から、お気に入りのクルマをお選びいただけます。
- オークション出品車両を直接買い付け、お客様にお届けしますので、**中間マージンの大幅カット**によりとにかく安い！
- 出品票・評価点オープンで厳格な品質チェックにより、**安心して**クルマをお選びいただけます。
- 1年間無料ロードサービス付き

お気軽に遊びに来てください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。

お問い合わせはフリーダイヤル 0120-977-380
中古車情報館 スーパーオークション水戸河和田店
水戸市河和田3035-14
営業時間 10:00～20:00 定休日 月曜



吉田石油

50号バイパス・岩間街道交差点内

●編集後記●

- ・(H) このところ世代交代ということを考えることがあります。でも、後輩に余計な口を出さなければ、今まだ自分が出来ることは辞めなくてもいいか・とちょっと考えが変わってきました。どうせ歳と共にそのうち身体が動かなくなっていくだろうし、動くうちは好きなことしようかなって・今は思っています～♪
- ・(N) 娘が専門学校卒業し、この春から社会人になります。一人暮らしも始めるので、本人はワクワクな様子。いろいろと口を出したいこと、心配やモヤモヤすることもあるけど、失敗もいい経験、本人のためにも (これからの人生にとっても) 必要なかな～と見守る修行中です。

